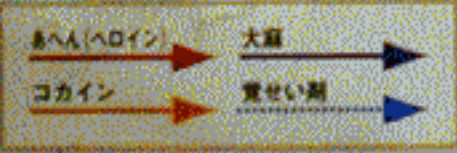


世界の薬物乱用状況



中枢神経を冒されて脳や体はもうメチャクチャ!

1冊でも
乱用すると

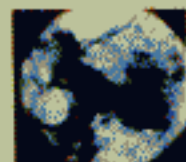
シンナー (接着剤) など

脳・気管支・肺・腎・腎臓・肝・心臓・腎臓・骨髄への被害



◀ 脳: 大脳の神経細胞の死滅による脳の萎縮 (意欲障害、記憶力低下、幻覚、妄想)

脳が萎縮している



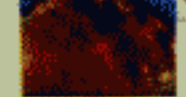
◀ 眼: 視神経がおかされる。眼底出血がおこる (視力低下、失明)

眼底出血がおこる



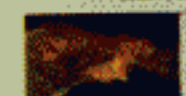
◀ 歯: 歯がぼろぼろになる

▼ 気管支・肺: 粘膜がおかされる (せきが出る)



粘膜がおかされている。慢性気管支炎で死に至ることもある

▼ 肝臓: 細胞の一部が死ぬ (食欲不振、黄疸、腹水)



細胞の一部が死んでいる



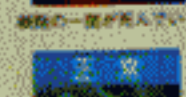
◀ 骨髄: 赤血球がつかられなくなる (貧血)

細胞がおかされている



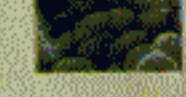
◀ 腎臓: 細胞の一部が死ぬ (タンパク尿) 生殖器: 萎縮 (生理不調、生殖能力の低下)

細胞の一部が死んでいる



◀ 食道・胃: 胃粘膜がおかされ、出血する (胃痛、吐血、嘔吐)

胃粘膜が荒れ出血します



胃粘膜が荒れ出血します

マリファナ

脳・肺・気管支・心臓への被害

精神障害

- 幻覚妄想
- 幻聴

脳が荒れる

大麻は有害なものとして世界的に規制されています。大麻を吸うと、感覚が現実になって、おぼろげからない異常状態になることがあります。また、急性脳症候群といって、毎日ゴロゴロしているだけで何もやる気のない状態になることがあります。幻覚や妄想が現れて精神異常をきたします。

染色は異常

覚せい剤

脳・胃・腎臓・心臓・肺臓への被害



◎自然再燃現象 (フラッシュバック)



薬物の乱用の害は半永久的に続きます。薬物の乱用でひとたび幻覚・被害妄想などの精神病的症状が生じると、治療によって表面上は回復しているかにみえても、精神異常が再びおこりやすい下地が残ってしまうのです。乱用をやめ、普通の生活に戻ったようにみえても、何らかの刺激によって突然、幻覚・妄想などの精神異常が再発することがあります。これをフラッシュバック(自然再燃)現象といいますが、お酒を飲んだり心のストレスなどを、ほんの小さなきっかけで起こってしまうのです。

精神障害

薬物乱用の害は、半永久的に続きます。乱用をやめ、治療を行なって通常の生活にもどったようでも、何らかの刺激で突然精神障害が起こることがあります。これを自然再燃現象(フラッシュバック)といいます。覚せい剤の乱用でひとたび精神障害が生じると、治療によって表面上は回復しているようでも、精神障害が再発する下地が残ってしまうからです。

瞳孔散大 (強い精神運動の興奮)

急性脳症候群

血圧上昇

静脈炎

乱用で乱用する場合には、おぼろげの幻覚・意識障害・呼吸器への被害になります。また、大麻では、稀に骨髄が、コカインでは腎臓・心臓などの被害があり、肝臓、肺臓にも悪影響があります。

シンナーを長時間にわたって使用し続けると、体内に蓄積された薬物が起こります。そして、回復期が数ヶ月には、腎臓が壊れ、脳内がつかれ、血球が減少するなど、健康を妨げる大きな原因になります。



ノイズ、高周波などの音が聴こえなくなり、つらくなる。また、耳鳴りやめまい、耳が重くなるなどの症状が現れます。



向精神薬

脳・気管支・肺・心臓への被害

精神障害

- 幻覚妄想 (幻聴・幻視) 幻聴・幻視
- 幻覚

向精神薬は、おぼろげの幻覚・意識障害・呼吸器への被害になります。また、大麻では、稀に骨髄が、コカインでは腎臓・心臓などの被害があり、肝臓、肺臓にも悪影響があります。

薬物乱用のきっかけ

同級生や身近な人から勧められたり、海外旅行先で遊び半分に使ううちに薬物の依存性にあまってしまうケース。また偶然行ったパーティで使ったり、「やる薬」「真似にやろう」「気分が覚める」といった親戚に見せかけた親しい言葉につい、使われないような勇気をもって断ることが大切です。

- 甘い言葉に騙される
- 使うつからされた



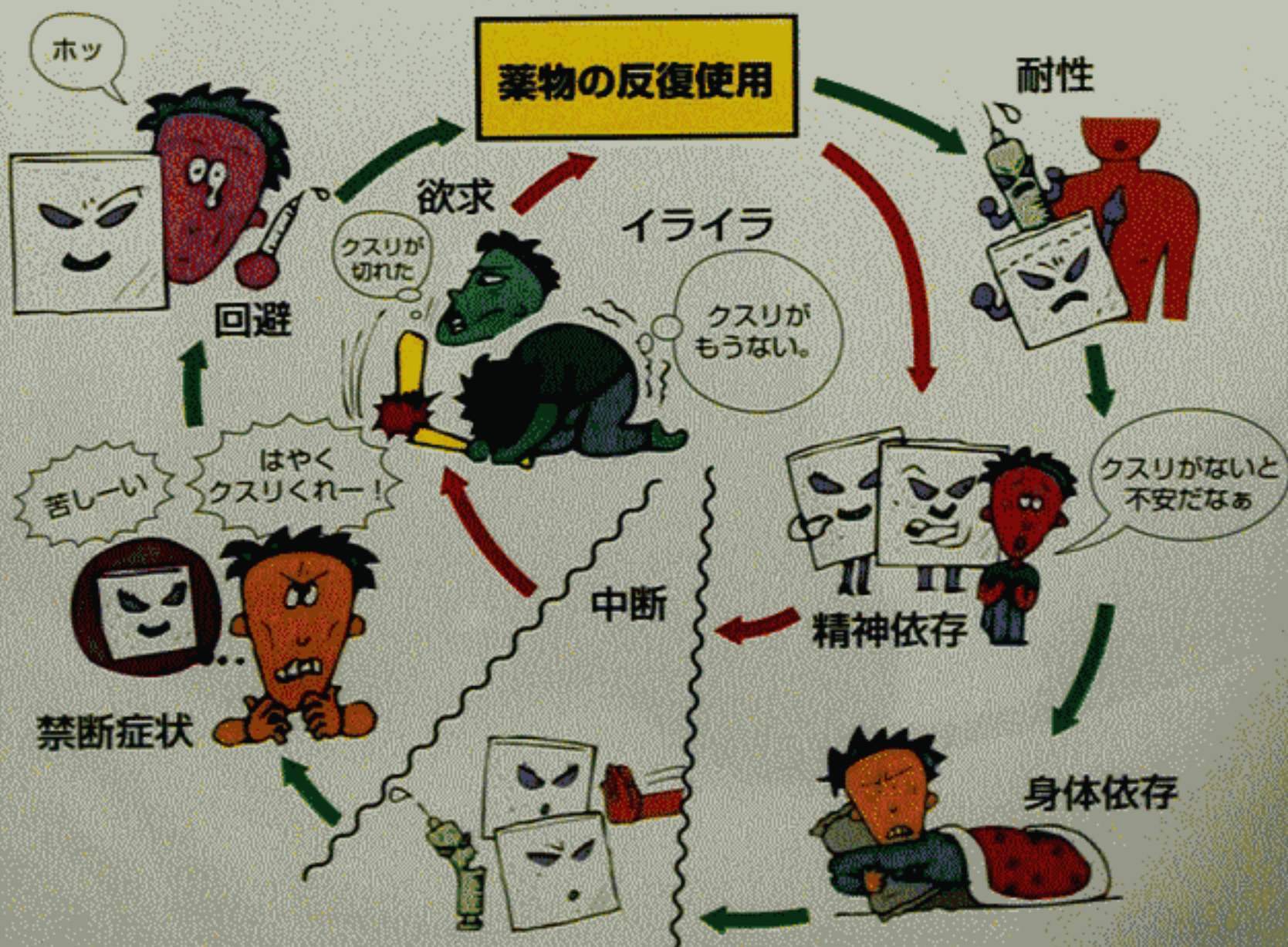
- ブループ屋敷から
- 好奇心と美しがり

薬物乱用はいったんはじめると、やめられなくなります

依存性の強い乱用薬物は、一度でも乱用するとともにもどらなくなります。薬物の効果がきれるとまた薬物が欲しくなって自分の意志がきかなくなります。さらに薬物への要求は激しくなり、強迫的な使用へとつながってゆきます。薬物によってはさらに身体依存の悪循環となり、深みにはまります。こうして、自分の意志では薬物使用のコントロールがきかなくなった状態を薬物依存といいます。

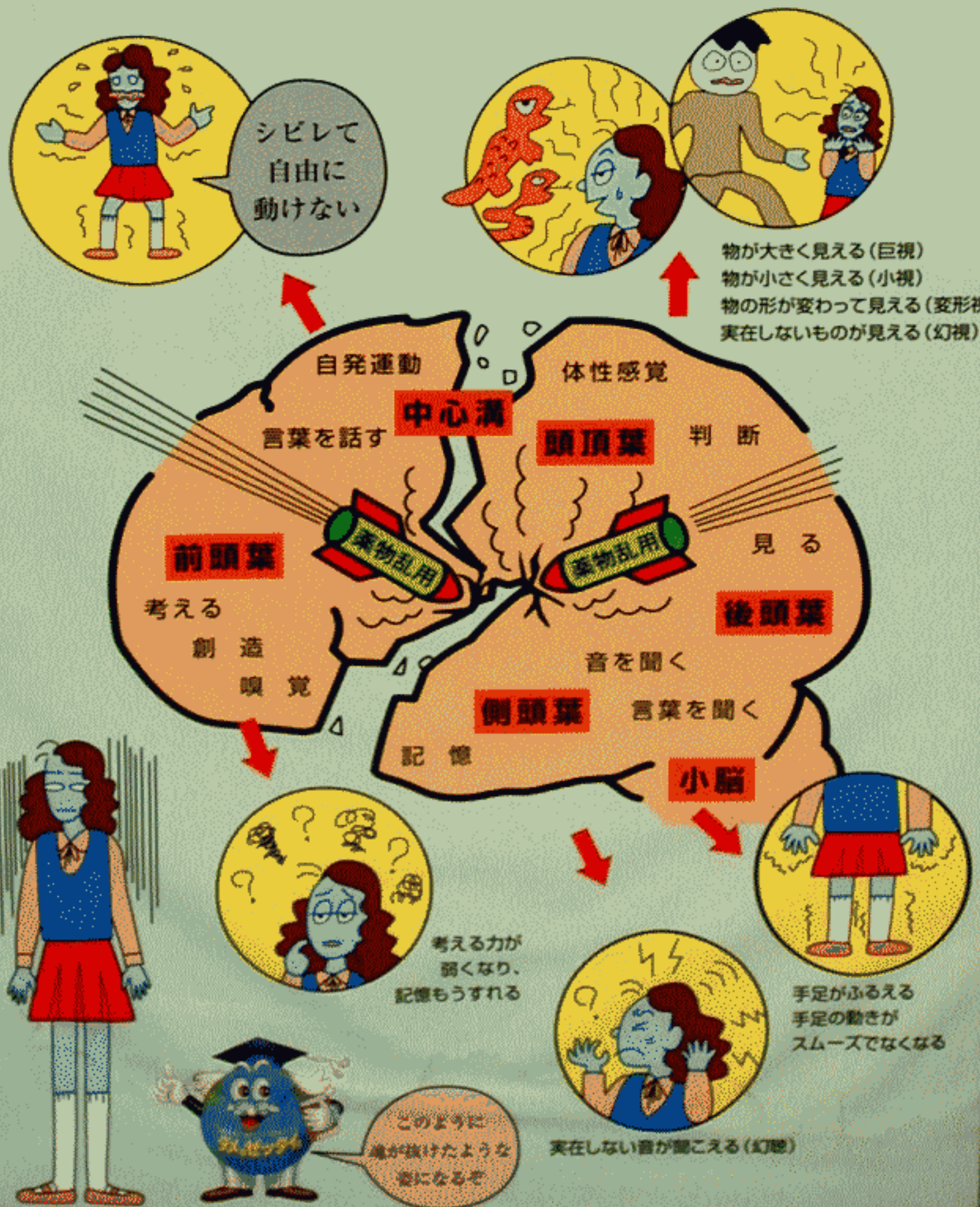
薬物依存の2つの悪循環(精神依存と身体依存)

薬物を乱用すると自力ではなかなかやめられず、何度もくりかえすことになる



一度こわれた脳は、もとにもどらない

(薬物乱用により精神の障害が現れます)



大麻＝マリファナの各種形状



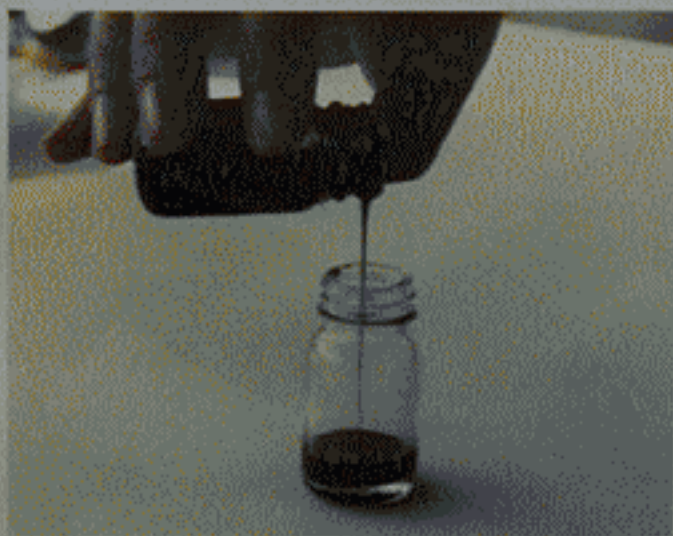
乾燥大麻



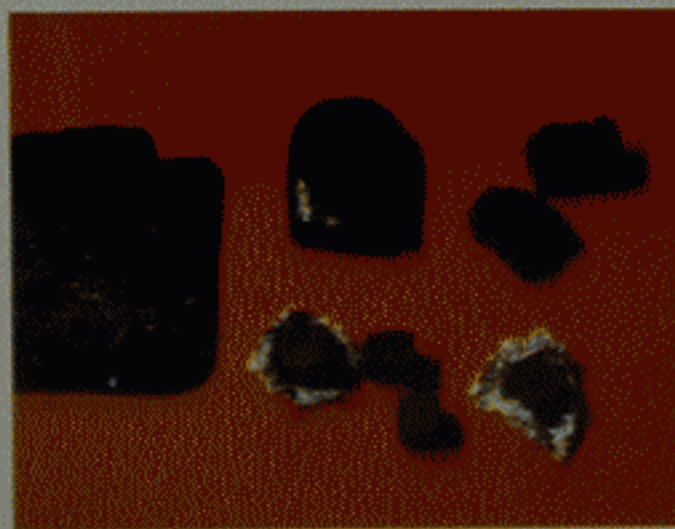
ブッダスティックと呼ぶ



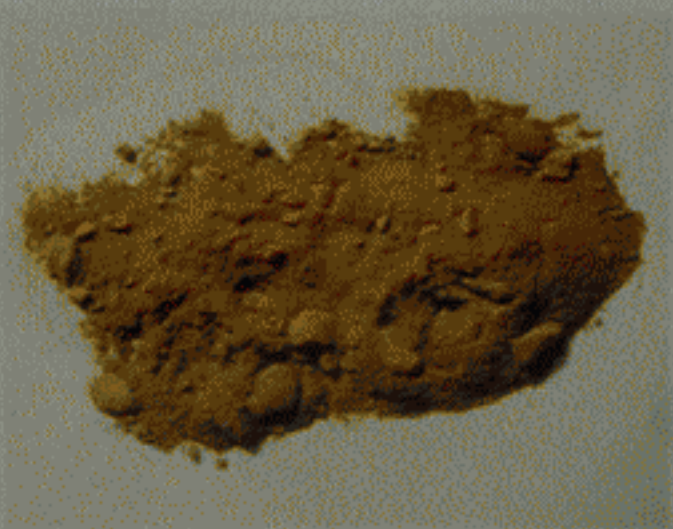
大麻タバコ



ハシシュオイルという

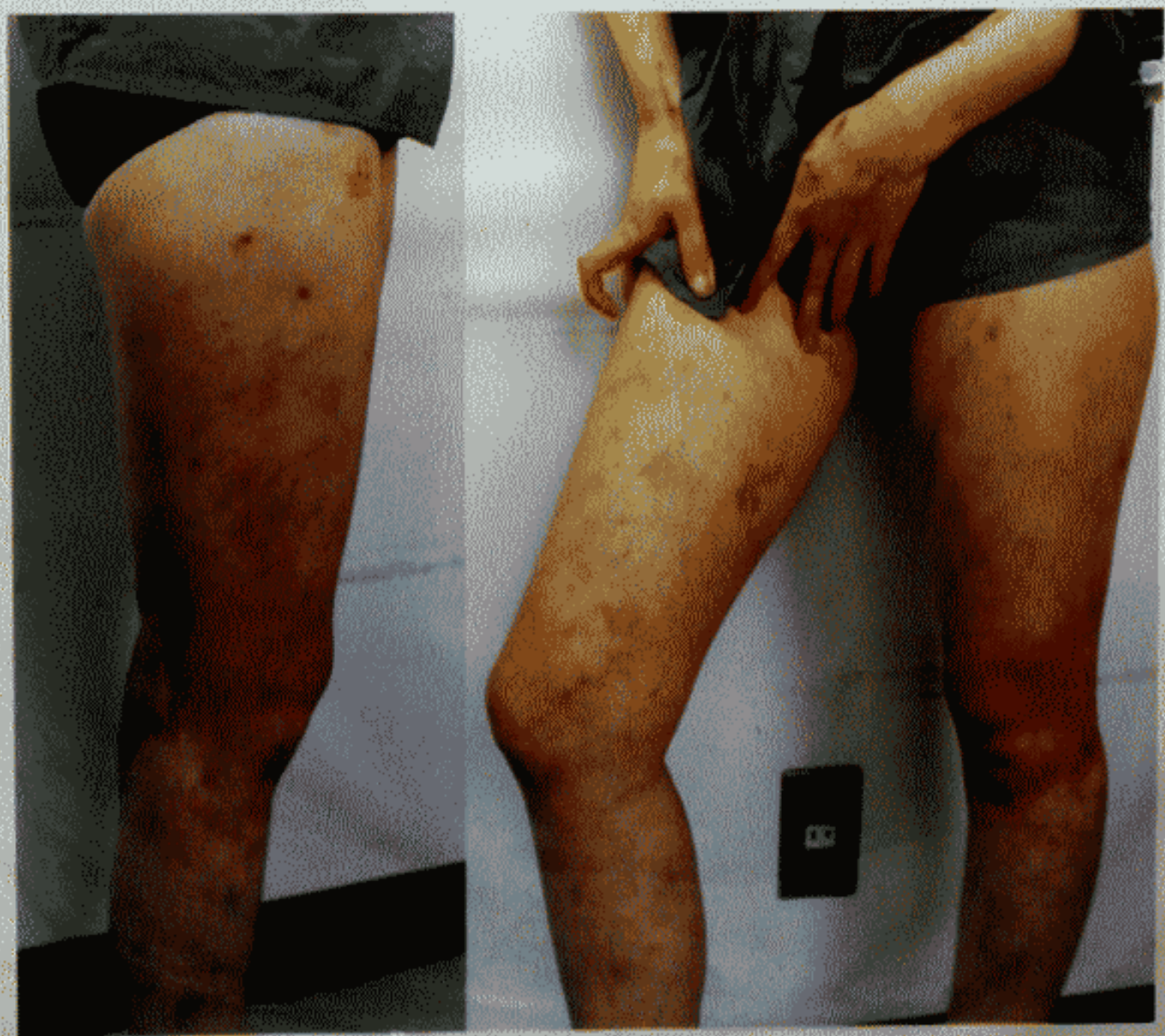
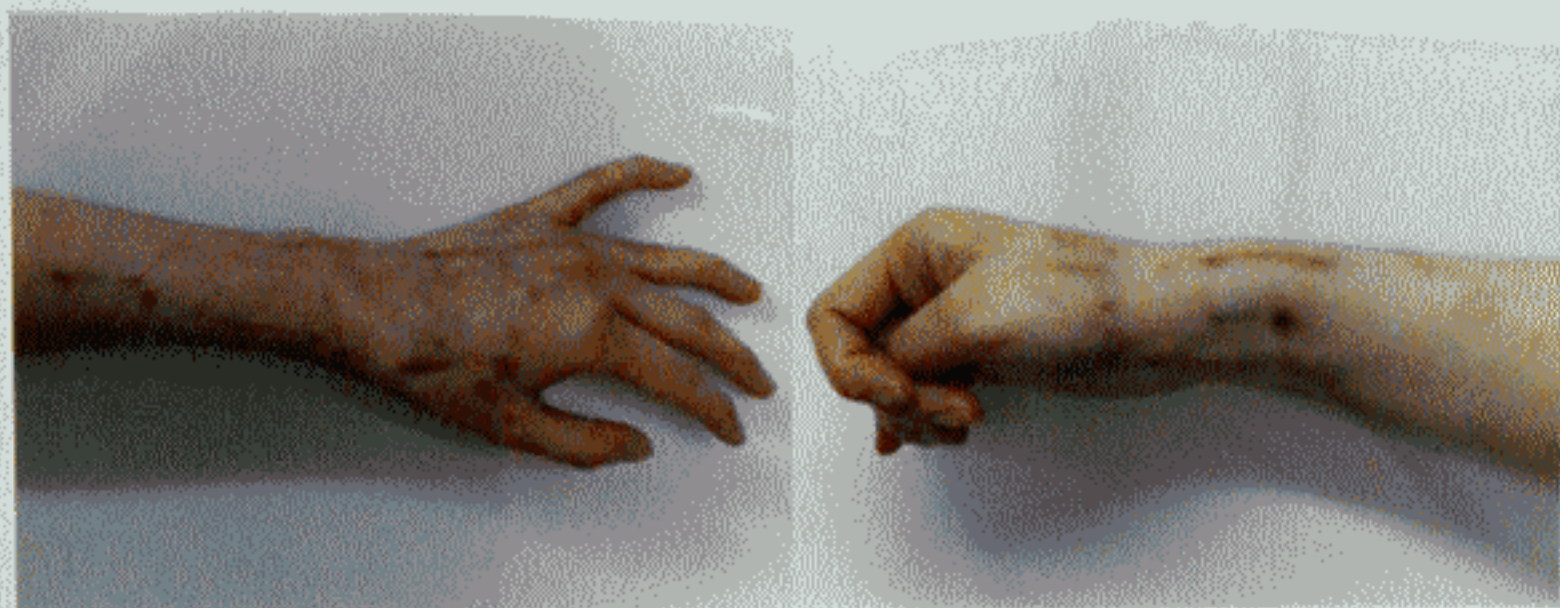


大麻の樹脂

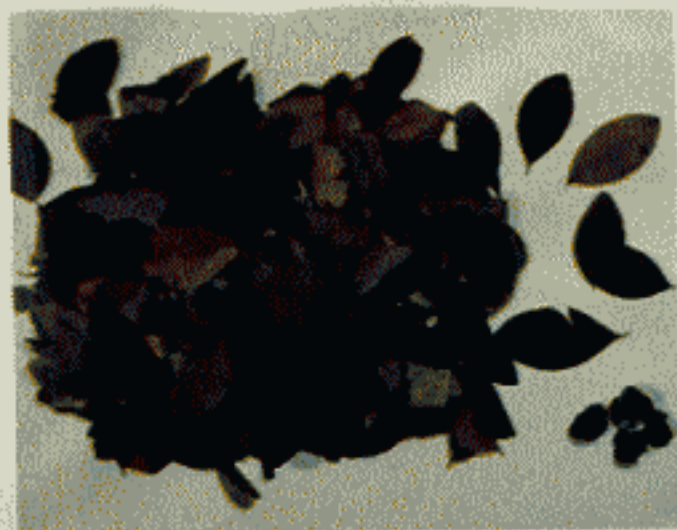


樹脂の粉末

手・脚に多数の注射痕



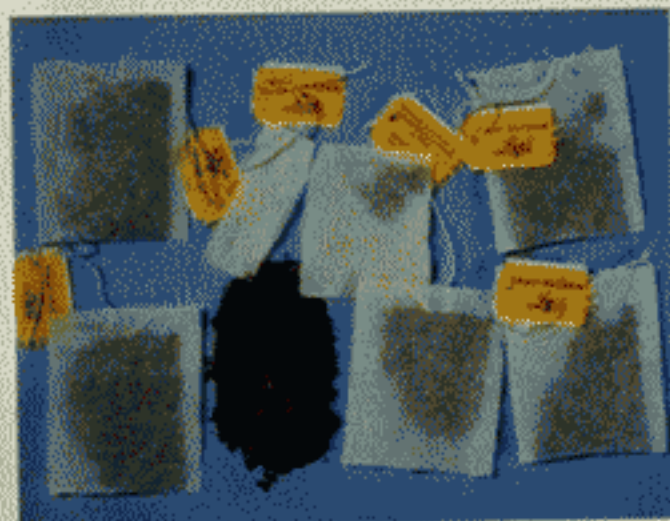
コカイン



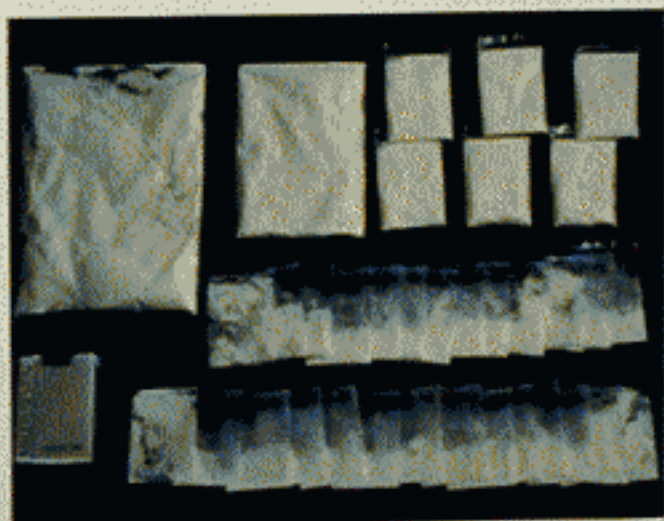
コカ葉



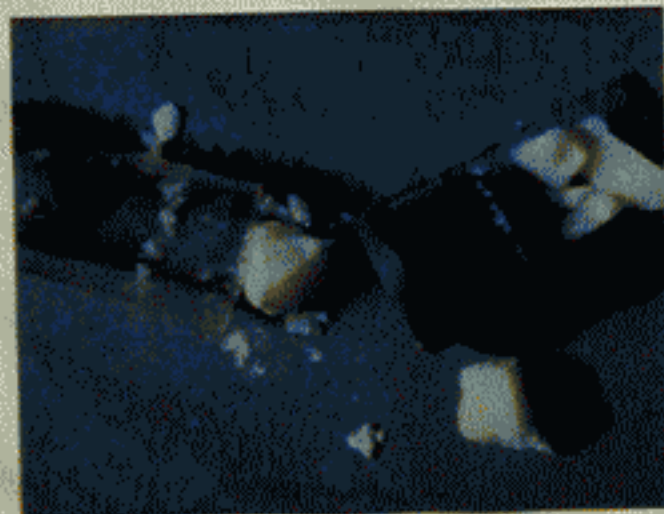
密造コカイン



マテーデコカ、茶として飲む



密売コカイン



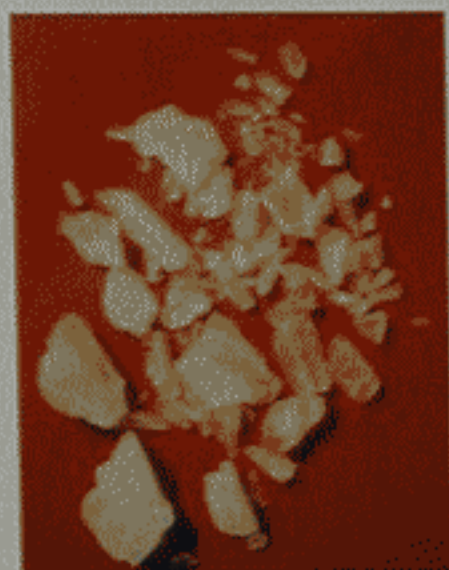
クラックと呼ばれるもの



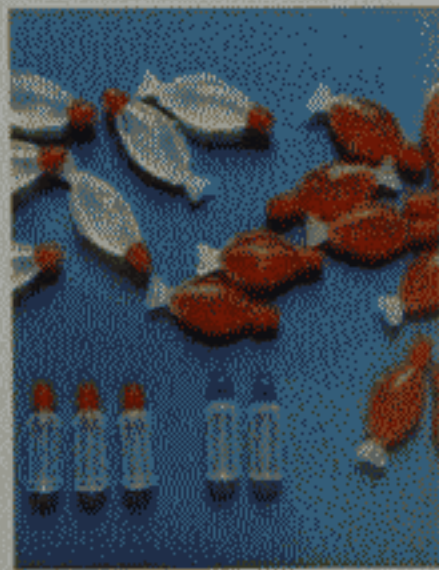
密売用の包みとコカイン

覚せい剤

罰則 密輸すると 無期もしくは3年以上の懲役、
500万円以下の罰金。
所持、売買すると 1年以上の有期懲役、
300万円以下の罰金。
使用すると 1年以上の有期懲役、
300万円以下の罰金。



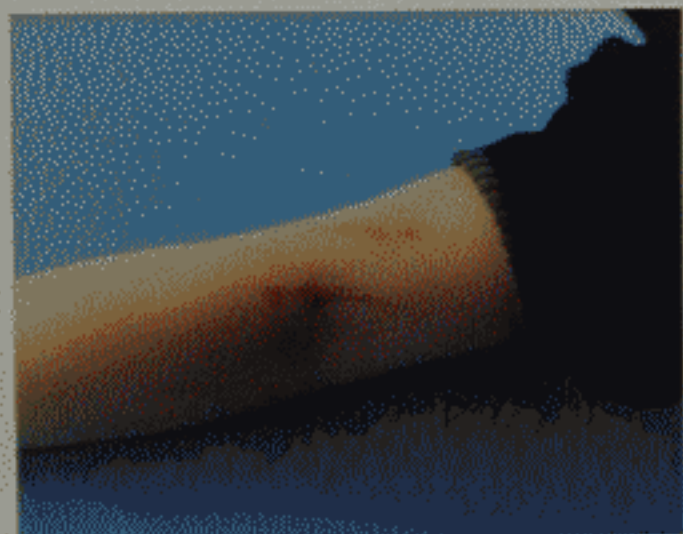
通称(ガンコロ)



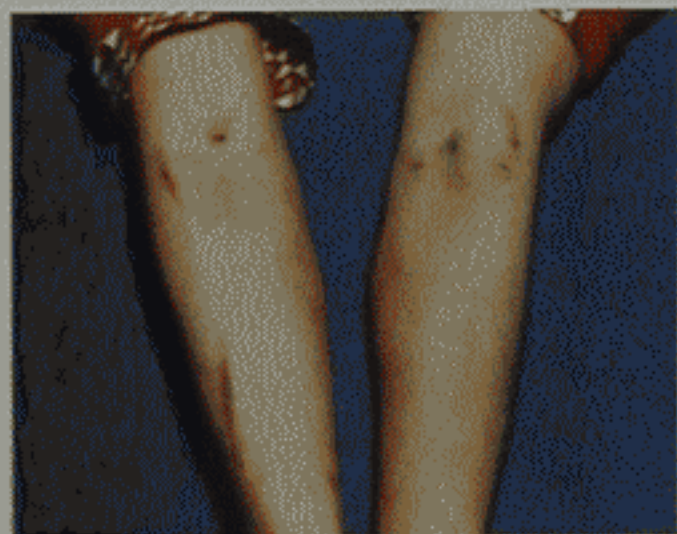
飲む覚せい剤
(キンギョ、ロケットともいう)



バケ(覚せい剤の小袋)
と注射器



腕の静脈に注射したあと



ミミズばれになった注射のあと



押収された約80kgの覚せい剤



足の血管にそって打ちミミズばれになる

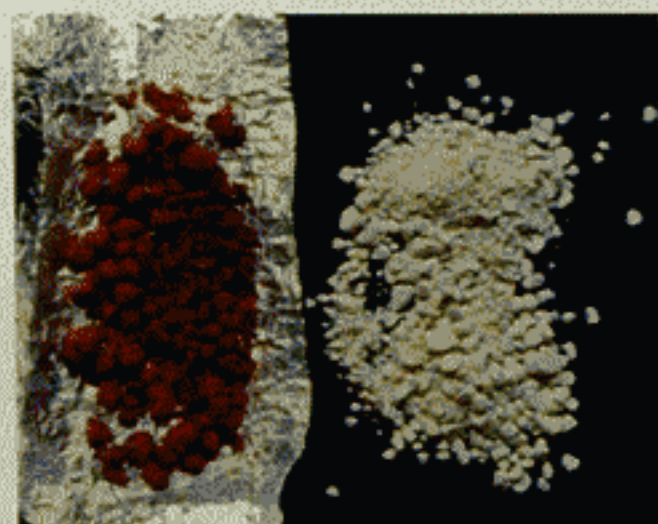
アヘン とケシからつくられる麻薬



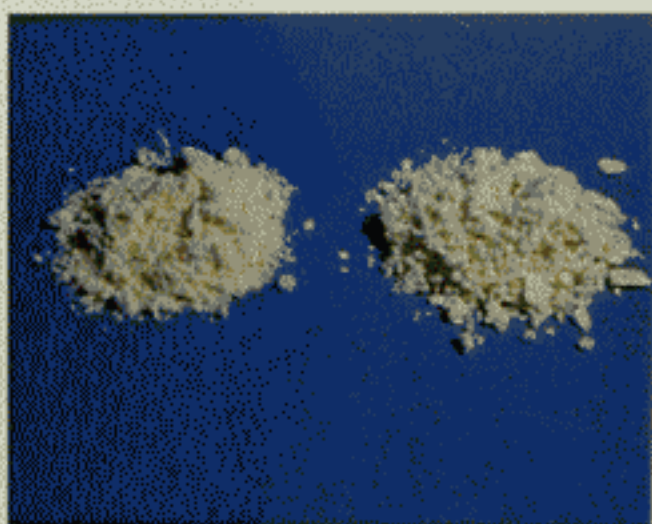
アヘン



けしがら



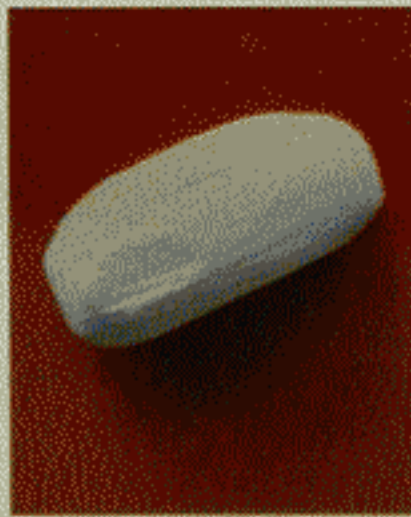
粗製ヘロイン



ヘロイン(左)とモルヒネ(医療用)



粉末状ヘロイン



固形ヘロイン



固形ヘロイン

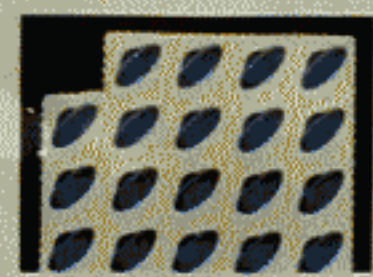
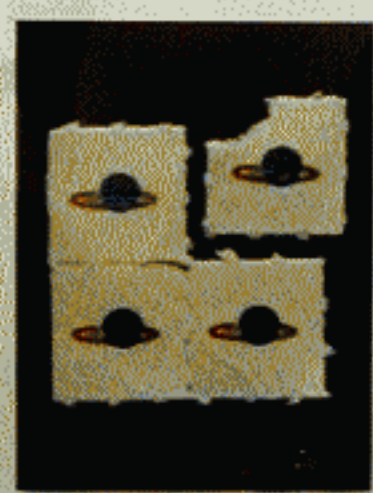
LSDと2C-B(幻覚剤)

LSD

LSDの形態は、錠剤、粉末、カプセル、水溶液を紙にしみ込ませたものなど多様化し、その姿を変えている。幻覚作用が強い。



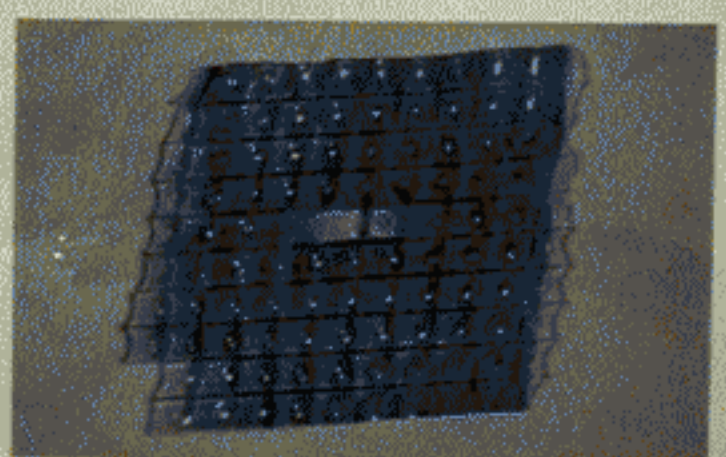
紙LSD *紙LSDは1cm²前後の大きさでちぎって飲み込む。



2C-B



黄色錠剤状と粉末LSD



ウインドーペイン(ゼラチンに含ませたもの)

エクスタシー

